

少しずつ「小紫」色、出しています！



教育委員の定数を8名に増員しました。

教育はこれからの生駒の最重要課題であり、まちの魅力を上げるのに不可欠な切り札。関西一の教育のまち、生駒を目指す取組にご理解・ご協力をお願いいたします。

1 生駒市教育委員会の定数 4名から8名に増員！ (10/9可決)

学校教育の推進に加え、就学前の子育て、幼稚園・保育園のあり方、障がいを持つ子どもへの教育、スポーツ・文化・音楽・読書などの生涯学習の推進、不登校・ひきこもりやニート対応など、多様化する教育課題に適切に対応します！

2 教育委員の公募実施 (応募数29名現在選考中)

子どもをもつ保護者、現場の視点から生駒の教育のあり方を考え、活きた教育政策を推進していただきます！

3 教育に関するワークショップ実施 (10/25・11/7)

「激動する社会においてやりがいを持って幸せに生きていく力、それをはぐくむ教育」をテーマに、10/25・11/7に教育に関するワークショップを当市で初めて実施します。

現在、各市で首長が教育の方向性を明確にするため、教育大綱の作成を進めていますが、市民の意見をワークショップで聞き大綱に活かしていく手法は、全国的にみても斬新な取組です。

みんなで創る日本一楽しいまち

生駒。

やまもとのぼる 山本昇副市長が就任しました！

6月議会において、副市長に山本昇(やまもとのぼる)氏を充てる人事に対し、全会一致でご同意いただきました。

山本副市長は、土木建築分野に造詣が深く、議会関係事務にも精通しており、私のマニフェストの実現に大きな力を発揮してくださると確信しています。私と山本副市長のコンビにご期待ください！



副市長の山本です！

市立病院が開院しました。

6月1日、ついに市立病院がオープンしました。

平成17年3月の旧生駒総合病院の閉院から約10年。市民の皆様への安全・安心を守る拠点として、しっかりと運営してまいります。



2015年8月現在

医師人数・・・20.1名※
外来患者・・・67.9名/日
入院患者・・・53.8名/日
救急搬送受け入れ件数・・・171件/月

※小児科常勤医師1名含む。非常勤医師は勤務時間で換算。



Point!

市立病院の建設費等は、指定管理者である医療法人徳洲会から、指定管理料として毎年お支払いいただくほか、仮に経営赤字が発生しても市が赤字補てんをすることはございません。

紙おむつの収集を無料化しました。

選挙時に最大の争点の一つとなった家庭ごみの有料化。「介護は、育児と異なり、いつまで続くかわからない。紙おむつの負担は大変。」というご意見を多くいただきました。

これを受け、紙おむつについては、袋を別にして分別した場合は無料で収集することとし、9月1日より運用を開始しました。



Point!

ごみ袋の販売収益に加え、分別や減量化による処理コストの削減や、処理施設の延命化による建て替えコストの削減分を、環境対策や福祉・子育て施策などにしっかり充当してまいります。



生駒市のホームページリニューアルしました！
<http://www.city.ikoma.lg.jp/>



メールマガジンはじめました！

「まちづくりはひとづくり～

奈良県生駒市長 こむらさき雅史の挑戦～」

